



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 株式会社 翻訳センター  
 コード番号 2483 URL <https://www.honyakuctr.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 郁男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 中本 宏

TEL 06-6282-5013

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,420	6.6	123	28.9	125	28.8	96	14.7
29年3月期第1四半期	2,593	22.8	173	233.5	177	258.2	112	478.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 91百万円 (12.8%) 29年3月期第1四半期 104百万円 (447.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	57.06	
29年3月期第1四半期	66.94	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,844	3,476	71.7
29年3月期	5,111	3,477	68.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,476百万円 29年3月期 3,477百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		55.00	55.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		58.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,700	5.4	210	38.5	210	40.8	140	38.2	83.11
通期	10,300	0.7	750	7.5	750	7.2	520	17.0	308.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	1,684,500 株	29年3月期	1,684,500 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期1Q	31 株	29年3月期	株
----------	------	--------	---

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	1,684,484 株	29年3月期1Q	1,684,500 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。米国および欧州においても景気は回復傾向にある一方、中国・新興国経済や資源国経済の動向、地政学リスクの高まりなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループでは第三次中期経営計画(平成28年3月期～平成30年3月期)において、言葉に関する事業領域の拡大による新たな価値創造を推し進め、企業のグローバル展開に伴う翻訳・通訳需要の獲得に努めてまいりました。

これらの結果、当社グループのコアビジネスである翻訳事業の売上高は前年同期比12.2%増加したものの、コンベンション事業で前期に運営した大型国際会議の反動減により、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比6.6%減の2,420百万円となりました。利益面においては、コンベンション事業の売上減の影響により、営業利益は前年同期比28.9%減の123百万円、経常利益は前年同期比28.8%減の125百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比14.7%減の96百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 翻訳事業

特許分野では、特許事務所における受注は好調に推移し、企業の知的財産関連部署からの受注も堅調に推移したことから、売上高は前年同期比11.1%増の487百万円となりました。医薬分野では、外資製薬会社との安定した取引に加え、国内製薬会社や医療機器関連企業における受注拡大により、売上高は前年同期比10.4%増の643百万円となりました。工業・ローカライゼーション分野では、自動車関連企業からの受注が好調に推移したことに加え、大手情報通信関連企業との取引拡大により、売上高は前年同期比15.5%増の478百万円となりました。金融・法務分野では、企業の管理系部署との取引が拡大していることに加え、金融機関からの受注継続により、売上高は前年同期比13.3%増の208百万円となりました。これらの結果、翻訳事業の売上高は前年同期比12.2%増の1,818百万円となりました。

#### ② 派遣事業

語学スキルの高い人材を派遣する派遣事業においては、金融関連企業やITサービス関連企業、医薬品関連企業からの求人が好調に推移し、売上高は前年同期比24.0%増の271百万円となりました。

#### ③ 通訳事業

通訳事業においては、大手情報通信関連企業や金融関連企業などからの受注が好調に推移したことから、売上高は前年同期比29.8%増の226百万円となりました。

#### ④ 語学教育事業

語学教育事業においては、株式会社アイ・エス・エス・インスティテュートが運営する通訳者・翻訳者育成講座の集客が前期を下回ったことから、売上高は前年同期比5.0%減の54百万円となりました。

#### ⑤ コンベンション事業

コンベンション事業においては、大型国際会議の多かった前期の反動減により、売上高は前年同期比97.5%減の11百万円となりました。

#### ⑥ その他

その他のセグメントにおいては、外国への特許出願に伴う明細書の作成や出願手続きを行う株式会社外国出願支援サービスの売上が減少したことから、売上高は前年同期比15.4%減の37百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,414百万円となり、前連結会計年度末に比べ217百万円減少いたしました。これは主にコンベンション事業の代金回収により、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。固定資産は429百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円減少いたしました。これは主に非連結子会社である北京東櫻花翻訳有限公司の清算に伴い、投資その他の資産が減少したことによるものであります。

この結果、総資産は4,844百万円となり、前連結会計年度末に比べ266百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,287百万円となり、前連結会計年度末に比べ255百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が減少したことによるものであります。固定負債は79百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少いたしました。これは主に年金資産の積立により退職給付に係る負債が減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,367百万円となり、前連結会計年度末に比べ265百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,476百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円減少いたしました。これは主に親会社に帰属する四半期純利益を96百万円計上した一方で、剰余金の配当94百万円及び為替換算調整勘定が4百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成29年5月11日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,700,767	2,701,838
受取手形及び売掛金(純額)	1,613,794	1,367,302
仕掛品	105,752	141,139
その他	211,902	204,688
流動資産合計	4,632,216	4,414,969
固定資産		
有形固定資産	103,287	96,368
無形固定資産		
のれん	29,937	14,546
その他	75,156	72,284
無形固定資産合計	105,094	86,831
投資その他の資産	270,564	246,120
固定資産合計	478,946	429,319
資産合計	5,111,162	4,844,289
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	704,150	665,649
未払法人税等	171,778	52,396
賞与引当金	179,672	127,254
その他	487,558	442,402
流動負債合計	1,543,159	1,287,703
固定負債		
役員退職慰労引当金	23,800	23,800
退職給付に係る負債	52,972	46,420
その他	13,250	9,735
固定負債合計	90,022	79,955
負債合計	1,633,182	1,367,659
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	588,443	588,443
資本剰余金	478,823	478,823
利益剰余金	2,382,675	2,386,153
自己株式	—	△112
株主資本合計	3,449,941	3,453,307
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	28,039	23,322
その他の包括利益累計額合計	28,039	23,322
純資産合計	3,477,980	3,476,630
負債純資産合計	5,111,162	4,844,289

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,593,265	2,420,543
売上原価	1,572,619	1,380,665
売上総利益	1,020,646	1,039,878
販売費及び一般管理費	846,948	916,425
営業利益	173,698	123,452
営業外収益		
受取利息	13	6
為替差益	1,647	3,745
持分法による投資利益	1,798	—
その他	33	259
営業外収益合計	3,492	4,012
営業外費用		
支払利息	17	11
持分法による投資損失	—	1,476
営業外費用合計	17	1,488
経常利益	177,173	125,976
特別利益		
関係会社清算益	—	14,209
持分変動利益	1,397	—
特別利益合計	1,397	14,209
税金等調整前四半期純利益	178,570	140,185
法人税等	65,810	44,059
四半期純利益	112,760	96,126
親会社株主に帰属する四半期純利益	112,760	96,126

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	112,760	96,126
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△7,834	△4,716
その他の包括利益合計	△7,834	△4,716
四半期包括利益	104,925	91,409
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104,925	91,409
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	語学教育 事業	コンベン ション事業	計		
売上高								
外部顧客への売上 高	1,619,184	218,908	174,691	57,506	478,209	2,548,501	44,764	2,593,265
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	9,386	—	2,837	—	—	12,224	5,034	17,258
計	1,628,571	218,908	177,529	57,506	478,209	2,560,725	49,798	2,610,524
セグメント利益	87,519	17,820	4,067	7,734	59,079	176,221	7,925	184,147

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	176,221
「その他」の区分の利益	7,925
セグメント間取引消去	3,513
のれんの償却額	△13,962
四半期連結損益計算書の営業利益	173,698

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	語学教育 事業	コンベン ション事業	計		
売上高								
外部顧客への売上 高	1,818,008	271,581	226,784	54,623	11,689	2,382,686	37,856	2,420,543
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	33,652	—	11,841	5,574	—	51,068	8,896	59,965
計	1,851,661	271,581	238,625	60,198	11,689	2,433,754	46,753	2,480,508
セグメント利益又は 損失(△)	125,416	17,032	8,676	8,195	△28,767	130,553	246	130,799

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願支援事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	130,553
「その他」の区分の利益	246
セグメント間取引消去	6,615
のれんの償却額	△13,962
四半期連結損益計算書の営業利益	123,452